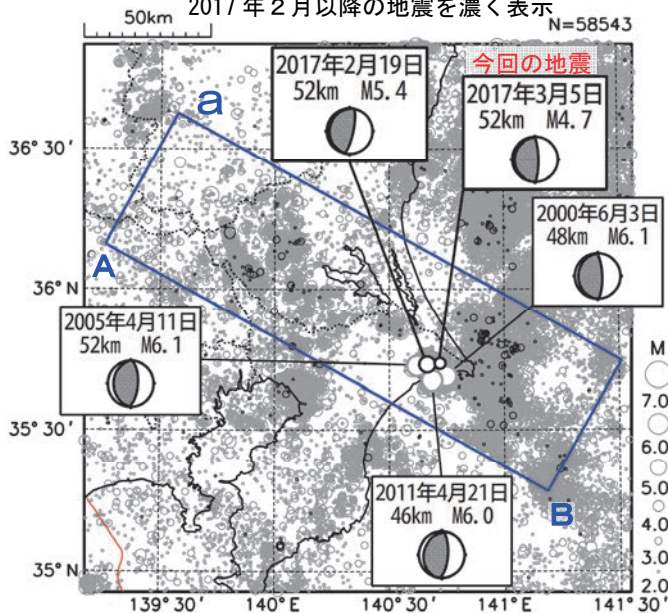
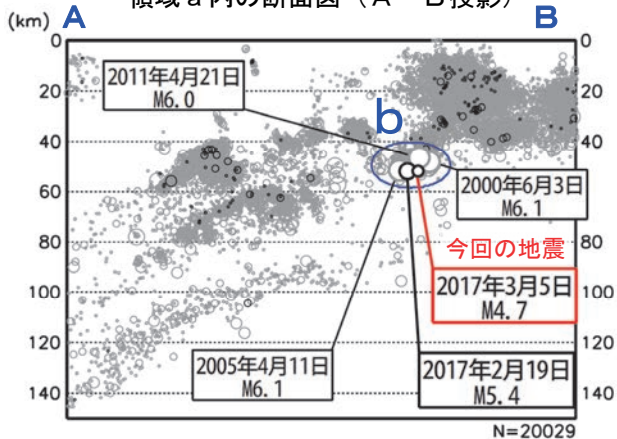


# 3月5日 千葉県北東部の地震

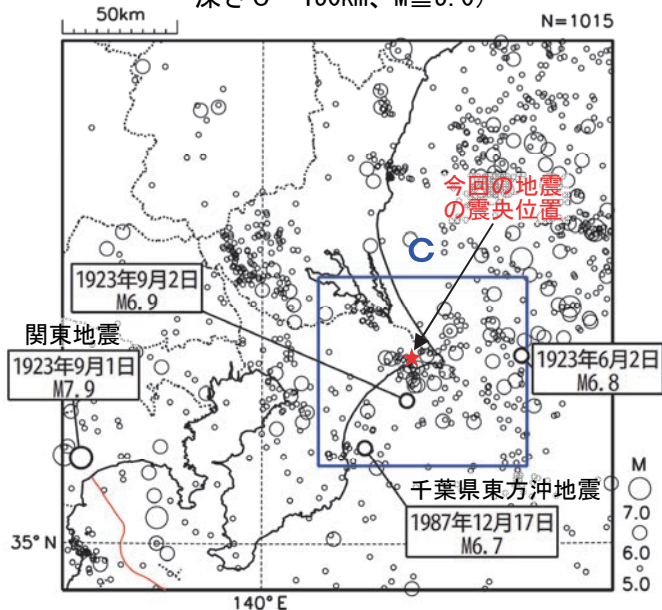
震央分布図  
(1997年10月1日~2017年3月31日、  
深さ0~150km、 $M \geq 2.0$ )  
2017年2月以降の地震を濃く表示



領域a内の断面図 (A-B投影)



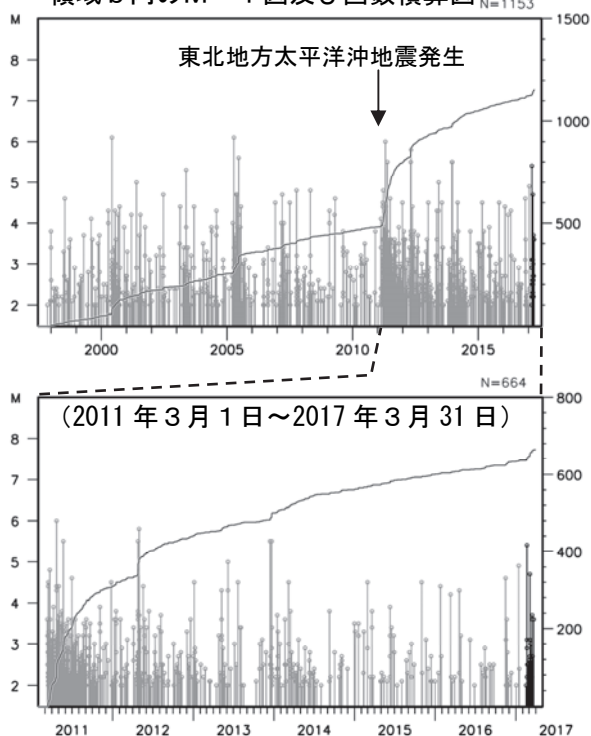
震央分布図  
(1923年1月1日~2017年3月31日、  
深さ0~150km、 $M \geq 5.0$ )



2017年3月5日10時18分に千葉県北東部の深さ52kmでM4.7の地震 (最大震度3) が発生した。この地震は、発震機構が東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界で発生した。なお、2017年2月19日にはほぼ同じ場所でM5.4の地震 (最大震度4) が発生し、ややまとまった地震活動がみられた。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) は、M6程度の地震が時々発生している。東北地方太平洋沖地震の発生以降、地震活動がより活発になっている。

領域b内のM-T図及び回数積算図



1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、M6程度の地震が時々発生している。1987年12月17日にフィリピン海プレート内部で発生した千葉県東方沖地震 (M6.7、最大震度5) では、死者2人、負傷者161人、住家全壊16棟、住家半壊102棟、住家一部破損72,580棟などの被害が生じた (被害は「日本被害地震総覧」による)。

領域c内のM-T図

